

中学英語

中1・2の復習

English  
Grammar  
&  
Phrases



<b>1</b>	<b>動詞の関連</b>	<b>2</b>
1.1	主語（～は，～が）と動詞の関係	2
1.1.1	be 動詞	2
1.1.2	「be 動詞」を使わない文	3
1.1.3	「動詞 s，動詞 es」のつけ方と発音	5
1.2	疑問文・否定文	6
1.2.1	「be 動詞」を使う文の疑問文・否定文	6
1.2.2	「一般動詞」の疑問文・否定文	7
<b>2</b>	<b>その他</b>	<b>10</b>
2.1	疑問詞	10
2.2	命令文と返事	14
2.3	複数形の表し方	16
2.4	代名詞	17
<b>3</b>	<b>進行形</b>	<b>19</b>
3.1	(現在) 進行形	19
<b>4</b>	<b>過去形</b>	<b>21</b>
4.1	規則動詞の過去形	21
4.2	現在形と過去形	22
4.3	過去形の疑問文と否定文	23
4.4	不規則動詞の過去形	25
4.5	be 動詞の過去形	26
4.6	過去進行形	27
<b>5</b>	<b>助動詞</b>	<b>28</b>
5.1	助動詞「can」	28
5.2	助動詞	29
5.3	特殊な表現	30
<b>6</b>	<b>動詞の構文</b>	<b>32</b>
6.1	主語のようす・状態を表す	32
6.2	主語が「人」に「もの」を ～	33
6.3	「… だということを～」	34
<b>7</b>	<b>不定詞・動名詞・その他</b>	<b>36</b>
7.1	不定詞	36
7.2	動名詞(～ing)	37
7.3	When～，	39
7.4	「～がある」「～がいる」	39

<b>8 比較級</b>	<b>41</b>
8.1 同級 「同じくらい~だ」	41
8.2 比較級 「~より(もっと)...だ」	41
8.3 最上級 「最も(一番)~だ」	42
8.4 形が変わる単語	42
8.5 注意が必要な表現	43
<b>9 現在完了</b>	<b>44</b>
9.1 継続 「(ずっと)~している」	44
9.2 経験 「(いままでに)~したことがある」	44
9.3 完了 「~してしまった, ~したところだ」	45
<b>10 動詞の活用</b>	<b>47</b>
10.1 動詞の活用と使い方	47
<b>11 不規則動詞の活用表</b>	<b>49</b>
<b>12 必ず覚えよう英語の単語</b>	<b>51</b>
12.1 曜日・月・季節	51
12.2 数字・序数	52
12.3 人称代名詞	53
<b>13 英語の文の作り方</b>	<b>54</b>
<b>【解答】</b>	<b>55</b>

1.1 主語（～は，～が）と動詞の関係

1.1.1 be 動詞

「be 動詞」は意味は同じだが，主語によって使い分ける

- |       |  |
|-------|--|
| 【種類】  | is, am, are の 3 つを be 動詞という                  |
| 【使い方】 | 主語によって，3 つを使い分ける                             |
|       | am 「I」 のときに使う                                |
|       | are 「you / we / they / these / those」 のときに使う |
|       | is 「this / that / it / he / she」 のときに使う      |
| 【意味】  | 3 つとも同じ意味。「～です(だ)」、「～にいる(ある)」、「～になる」         |

1 次の日本語を英文に直せ

(1) 私は日本人です

\_\_\_\_\_

(2) 私は自分（私）の部屋にいます

\_\_\_\_\_

(3) 私たちは友達です

\_\_\_\_\_

(4) あなたはアメリカ出身です

\_\_\_\_\_

(5) 彼らは教室にいます

\_\_\_\_\_

(6) これらはあなたの本です

\_\_\_\_\_

(7) あれらは私の本です

\_\_\_\_\_

(8) これは私の学校です

\_\_\_\_\_

(9) あれはあなたの家です

---

(10) それは机の上にあります

---

(11) 彼はイングランド出身です

---

(12) 彼女はアンです

---

### 1.1.2 「be 動詞」を使わない文

be 動詞以外の動詞を一般動詞という

【使い方】 be 動詞は「～です(だ)」や「～にいる」のときしか使えない

それ以外の意味のときは「一般動詞」を使う

【形】 主語によって，形が変わる(s・esがつく)

●主語が I / you / we / they などのとき

⇒ そのまま何もつけない

●主語が「人が1人」，「ものが1つ」のとき

⇒ 動詞に「s(es)」をつける

② 「have」だけは形をかえて「has」にする

#### 2 次の日本語を英文に直せ

(1) 私は放課後テニスをする

---

(2) 夏，私たちは海で泳ぐ

---

(3) 彼らはテレビで映画を見る

---

(4) 私たちはたくさん写真をとる

---

(5) 彼らは英語を話す

---

(6) 彼女らは公園で走る

---

(7) 私は小さなバッグをもっている

---

(8) 健は放課後テニスをします

---

(9) 夏，私の父は海で泳ぎます

---

(10) アンはテレビで映画を見ます

---

(11) ビリーはたくさんの写真を撮る

---

(12) 久美は英語を話します

---

(13) 私たちの先生は公園で走る

---

(14) わたしの母は小さなバッグを持っている

---

## 1.1.3 「動詞 s , 動詞 es」のつけ方と発音

## 「動詞 s , 動詞 es」のつけ方と発音

普通は「s」をつけるだけ

play - plays take - takes stop - stops ride - rides など多数

「es」をつけるとき

(1) 「sh , sh , ch , s , x」などの後

watch - watches wash - washes teach - teaches miss - misses など

(2) 「o」の後

go - goes do - does など

(3) 「dy , ry」などの後

study - studies try - tries carry - carries など

「y」が「i」に変わっていることも注意

形が変わるもの

have - has だけ

発音のきまり

(1) 普通は「z」(ズ)

plays (プレイズ) runs (ランズ) goes (ゴウズ) tries (トライズ)  
rides (ライズ) など

(2) f , k , p , t の後は、必ず「s」(ス)

stops (スタップス) speaks (スピークス) sits (スイッツ)  
writes (ライツ) など

(3) c , s , ch , sh , x の後はすべて「iz」(イズ)

washes (ワッシュズ) misses (ミシズ) watches (ワッチズ)  
teaches (ティーチズ) relaxes (リラックスイズ) など

(4) 特に注意するもの

does (ダズ)「ドゥーズ」ではない says (セズ)「セイズ」ではない

## 1.2 疑問文・否定文

「疑問文・否定文」のキーワードは「be 動詞」。あるかないかで作り方がちがう

### 1.2.1 「be 動詞」を使う文の疑問文・否定文

【疑問文】	意味	「～ですか」、「～にいますか」の意味のとき
	形	「be 動詞」を前にだすだけ。「Be 主語 ~ ?」の形にする
	返事	「be 動詞」を使って答える。 Yes, 主語 + be. No, 主語 + be + not.
【否定文】	意味	「～ではない, ~にいない」の意味のとき
	形	「be 動詞 + not」。短くすると「aren't」や「isn't」になる

#### 1 次の日本語を英文に直せ

(1) 私はニューヨーク出身です

あなたはニューヨーク出身ですか

はい, そうです。いいえ, 違います

私はニューヨーク出身ではありません

(2) あなたたちは生徒です

あなたたちは生徒ですか

はい, そうです。いいえ違います

私たちは生徒ではありません

(3) これらはあなたの犬です

---

あれらもあなたの犬ですか

---

はい, そうです。いいえ, 違います

---

それらは私の犬ではありません

---

(4) ビリーは今ここにいる

---

ビリーは今ここにいますか

---

はい, います。いいえ, いません

---

ビリーは今ここにいません

---

### 1.2.2 「一般動詞」の疑問文・否定文

「be 動詞」を使わない文では、「do(does)」のたすけをかりる

【疑問文】 形 「Do 主語 ~ ?」や「Does 主語 ~ ?」の形にする。

返事 答えるときも, do ( does ) を使う

Yes, 主語 + do(does). No, 主語 + don't(doesn't).

注意 「some」は「any」に変わる

【否定文】 形 do not ( don't ) + 動詞 does not ( doesn't ) + 動詞

注意 「some」は「any」に変わる

**2** 次の日本語を英文に直せ

(1) 彼らは英語を話す

---

彼らは英語を話しますか

---

はい、話します。 いいえ、話しません

---

彼らは英語を話しません

(2) 久美は英語を話す

---

久美は英語を話しますか

---

はい、話します。 いいえ、話しません

---

久美は英語を話しません

(3) 私の母はバッグを持っている

---

あなたのお母さんはバッグを持っていますか

---

はい、持っています。 いいえ、持っていない

---

私の母はバッグを持っていない

---

(4) 彼女は本を何冊か持っている

---

彼女は本を何冊か持っていますか

---

はい、持っています。 いいえ、持っていない

---

彼女はまったく本を持っていない

---

2.1 疑問詞

【基本形】	疑問詞 + 疑問文
【使い方】	それぞれの意味で使う
【語句】	what 何, 何を, どんな, 何の, 何が
	who 誰, 誰を, 誰が
	where どこで, どこへ(に)
	when いつ
	why なぜ, どうして
	whose 誰の, 誰のもの
	which どちら, どちらの, どちらが
	how どのような(に), どうやって
	how many いくつの, 何人の。(数を尋ねるとき)
	what time 何時(に)。(時刻を尋ねるとき)
【注意】	who が主語になるときの返事に注意

① 次の日本語を英文に直せ

(1) これは何ですか

\_\_\_\_\_

(2) あれは何ですか

\_\_\_\_\_

(3) あなたはかばんの中に何を持っていますか

\_\_\_\_\_

(4) あなたはどんな(何の)色が好きですか

\_\_\_\_\_

(5) あなたはどんな種類の本を読みますか

\_\_\_\_\_

**2** 次の日本語を英文に直せ

(1) あの人は誰ですか

---

(2) あなたの英語の先生は誰ですか

---

Kato 先生です

---

(3) 誰が英語を教えますか

---

Kato 先生です

---

**3** 次の日本語を英文に直せ

(1) あれは誰の机 (desk) ですか

---

(2) これは誰の自転車 (bike) ですか

---

(3) あの帽子 (cap) は誰のですか

---

私のです

---

**4** 次の日本語を英文に直せ

(1) 毎週英語の時間は何時間ありますか

---

(2) あなたは兄弟は何人ですか

---

5 次の日本語を英文に直せ

(1) あなたはどこでランチを食べますか

---

(2) 図書館はどこにありますか

---

(3) 私の本はどこにありますか

---

6 次の日本語を英文に直せ

(1) 今何時ですか

---

(2) 日本では今何時ですか

朝の8時です

---

(3) あなたは何時にねますか

---

7 次の日本語を英文に直せ

(1) あなたはいつテニスをしますか

私はたいてい放課後テニスをします

---

(2) あなたはいつ Billy に会いますか

私はいつも午前中彼に会います

---

**8** 次の日本語を英文に直せ

- (1) どちらがあなたのカバンですか

---

あちらのです

---

- (2) どちらのカバンがあなたのですか

---

その青いのです

---

- (3) あなたは野球とサッカーどちらをしますか

- 
- (4) Nancy は英語とフランス語のどちらを話しますか
- 

**9** 次の日本語を英文に直せ

- (1) あなたは何で(どうやって)学校へ行きますか

---

私は歩いて学校へ行きます

---

- (2) 福岡の天気はどうですか
-

## 2.2 命令文と返事

【基本形】 動詞の原形～.

【意味】 ～しなさい

【発展】 命令文を使ったいろいろな表現

Please～. ～, please. ～して下さい

→ 答え方は意味を考えて「yes」や「OK」や「Thank you.」など

Let's～. ～しましょう

→ 答え方は「Yes, let's.」「No, Let's not.」など

Don't～. ～してはいけません。～するな

→ 答え方は「Yes.」「OK.」「I see.」など

### 1 次の日本語を英文に直せ

(1) 部屋を掃除しなさい

はい, お母さん

(2) 黒板のところへ行きなさい

はい, 岡先生

### 2 次の日本語を英文に直せ

(1) 窓を開けて下さい

いいですよ

(2) そこで止まって下さい

わかりました。(はい)

(3) このテーブルを使って下さい

---

ありがとう

---

**3** 次の日本語を英文に直せ

(1) ドアを開けるな

---

わかりました

---

(2) そこで止まるな

---

わかりました

---

**4** 次の日本語を英文に直せ

(1) テニスをしましょう。

---

- いいですよ。      - はい、そうしましょう

---

(2) 向こうの店へ行きましょう

---

- いいえ、よしましょう

---

### 2.3 複数形の表し方

英語では「単数(1つ)」、「複数(2つ以上)」の区別をしなければならない

- 【規則】 「名詞(もの,人)」が2個(人)以上になったら,  
その名詞を複数形にする
- 【発音】 読み方にも注意(ズ・ス・イズ)
- 【注意】 人の名前・国の名前など(固有名詞という)は複数形にはしない  
その他「複数形」にならない語もあるのでそのつどおぼえる

#### 複数形の作り方と発音

普通は「s」をつける。(ズやスと読む)\*印は特別な読み方。

pen (pens), book (books), friend (friends), house (houses)

s, sh, ch, xの後は「es」をつける。(イズと読む)

class (classes)    box (boxes)    bus (buses)

b, d, l, r, tなど+yのときは「y」を「i」にかえて「es」をつける。

読むときは「ズ」と読む。

library (libraries)    city (cities)

#### 1 次の間に答えよ

(1) This is a book. (bookを複数形にすると)

\_\_\_\_\_

(2) That boy is my friend. (boyを複数形にすると)

\_\_\_\_\_

(3) It is my book. (bookを複数形にすると)

\_\_\_\_\_

#### 2 次の日本語を英文に直せ

(1) 私は生徒(学生)です

\_\_\_\_\_

私たちは生徒(学生)です

\_\_\_\_\_

(2) あなたは私の友達です

---

あなたたちは私の友達です

---

## 2.4 代名詞

かけ算の九九と同じように何回もくり返し練習して覚えよう。日本語も大事

	主格 (～は, が)	所有格 (～の)	目的格 (～を, に)	所有代名詞 (～のもの)
私	I	my	me	mine
あなた	you	your	you	yours
彼	he	his	him	his
彼女	she	her	her	hers
それ	it	its	it	
わたしたち	we	our	us	ours
あなたたち	you	your	you	yours
彼ら 彼女ら それら	they	their	them	theirs

**1** 次の下線部を代名詞で置き換えよ。

(1) Ann often helps Billy .

---

(2) But, Kumi doesn't help Billy .

---

(3) Ann and I are Billy's friends.

---

(4) Billy doesn't study English .

---

(5) But, Billy likes Ms.Jones .

---

(6) Ms.Jones teaches Ann and Kumi.

---

(7) Billy likes tennis and soccer .

---

(8) Ann likes Billy and Jim.

---

(9) Ms.Jones is Billy's teacher .

---

(10) Ms.Jones and I miss Billy .

---

(11) Nancy and Ann remember you and me.

---

(12) Billy is kind to the girls .

---

(13) The girls like Billy .

---

③

## 第3章 進行形

③

## 3.1 (現在) 進行形

【形】 「be ~ing」の形で表す

【意味】 「いま~している」、「~するところだ」

「~ing」のつくりかた

普通はそのまま

go going clean cleaning study studying など

最後の「e」をとって「~ing」

come coming write writing make making など

最後の字をかさねて「~ing」

sit sitting run running swim swimming など

1 次の日本語を英文に直せ

(1) 私は本を読む

私は本を読んでいる

(2) 私たちは何か飲む

私たちは何か飲んでいる

(3) 私の兄は英語の勉強をする

私の兄は英語の勉強をしている

**2** 現在進行形の疑問文と否定文

現在進行形では「be 動詞」使うから，疑問文・否定文は「be 動詞」使い方と同じ

【疑問文】 Be 動詞 + 主語 + 動詞 ing ~ ?      答えるときも，be 動詞で答える  
【否定文】 主語 + be 動詞 + not + 動詞 ing

(1) 私は本を読んでいない

---

(2) 彼女は本を読んでいません

---

(3) あなたは本を読んでいますか

---

はい，読んでいます。      いいえ，読んでいません

---

**3** 進行形にしない語句

次のような「～している」という意味が含まれているものや，気持ちを表すものは「進行形」にしない

have 持っている	know 知っている	live 住んでいる
want ～が欲しい	like ～が好きだ	

(1) 私は今その本を持っている

---

(2) 彼女はあなた(のこと)を知っている

---

(3) Kenはこの町に住んでいる

---

④

## 第4章 過去形

④

過去のことを表すのに、日本語では「～した、だった」のように文末に「た」をつけるが、英語では、「動詞」の形を変える

【規則動詞】 ~ ed の形にする

【不規則動詞】 動詞によって形が違うので、それぞれ覚える。参照：49 ページ

【否定文】 主語 + did + not(din't) ~ .

【疑問文】 Did + 主語 ~ ? Yes, 主語 did. No, 主語 didn't.

## 4.1 規則動詞の過去形

## 過去形 (ed) の作り方と発音

## 1 規則動詞の過去形

ふつうは「ed」をくっつける

「dy」「ry」は「y」を「i」に変えて、「ed」をくっつける

最後の字を重ねて、「ed」をくっつける 数は少ない

## 2 「ed」の発音

ふつうは「d(ド)」

played (プレイド), lived (リヴド), listened (リッスンド), studied (スタディド)

k, p, s, ch, sh のときは「t(ト)」

asked (アスクト), watched (ワッチト), worked (ワークト),

stopped (スタップト)

t, d のときは「id(イド)」

visited (ヴィズイティド) wanted (ワンティド)

## 1 次の文を過去形にせよ

(1) We play soccer.

\_\_\_\_\_

(2) I ask a question.

\_\_\_\_\_

(3) Jim enjoys reading.

\_\_\_\_\_

(4) They stay in Tokyo.

\_\_\_\_\_

(5) Emily watches TV.

\_\_\_\_\_

(6) I visit Kyoto. \_\_\_\_\_

**2** 次の文を過去形にせよ

(1) We study English. \_\_\_\_\_

(2) I try it. \_\_\_\_\_

**3** 次の文を過去形にせよ

(1) They stop there. \_\_\_\_\_

## 4.2 現在形と過去形

**【過去形】** キーワードは「た」。「た」があれば「過去形」

**【現在形】** 現在形で注意するのは「主語」。主語によって「動詞の形」が変わる

**1** 次の日本語を英文にせよ

(1) 私はたいてい夕食後テレビを見ます

私は昨夜夕食後テレビを見ました

(2) あなた達はいつも午前中英語の勉強をします

あなた達は今朝英語の勉強をしました

(3) アンは東京に住んでいる

アンは去年、東京に住んでいました

- (4) ビリーは野球が好きです

---

ビリーは野球が好きでした

---

- (5) 私のお父さんは毎週日曜日料理をします

---

私のお父さんは先週の日曜日料理をしました

---

### 4.3 過去形の疑問文と否定文

現在形のような「do, does」の使い分けの区別がないのでわかりやすい

【疑問文】 Did 主語 動詞の原形～？

現在 あなたはテニスをしますか。Do you play tennis？

彼はテニスをしますか。Does he play tennis？

過去 あなたはテニスをしましたか。Did you play tennis？

彼はテニスをしましたか。Did he play tennis？

答えるときは、「Yes, did.」「No, didn't.」

【否定文】 主語 +didn't+ 動詞の原形～.

#### 1 次の日本語を英文にせよ

- (1) あなたはたいてい夕食後テレビを見ますか

---

あなたは昨夜夕食後テレビを見ましたか

---

いいえ、見ませんでした。私はテレビは見ませんでした

---

- (2) あなた達はいつも午前中英語の勉強をしますか

---

あなた達は今朝英語の勉強をしましたか

---

---

はい, しました。      いいえ, ませんでした

---

(3) アンは東京に住んでいますか

---

アンは去年, 東京に住んでいましたか

---

いいえ, 住んでいませんでした。彼女は東京に住んでいませんでした

---

(4) あなたのお父さんは毎週日曜日料理をしますか

---

あなたのお父さんは先週の日曜日料理をしましたか

---

いいえ。彼は先週の日曜日料理をしませんでした

---

#### 4.4 不規則動詞の過去形

**1** 次の日本語を英文にせよ。参照：49 ページ

(1) 彼女は私のためにピアノをひいてくれた

---

(2) 私は北海道で休暇を楽しんだ

---

(3) 加藤先生 (Mr.Kato) が私たちに英語を教えます

---

(4) 私は公園でたくさんの犬を見た

---

(5) 私たちは前の冬休みに京都へ行った

---

(6) 彼女はたいてい放課後ピアノをひきます

---

(7) あなた達はそこで楽しく過ごしましたか

---

(8) 私の兄が私に英語を教えてくれた

---

(9) 私は昨日彼に会いませんでした

---

(10) あなたは昨日何をしましたか

---

(11) 彼らはたくさんの美しい写真を撮った

---

### 4.5 be 動詞の過去形

「be 動詞」は主語によって was・were を使い分ける

- 【形】 am・is → was      are → were
- 【意味】 ~ だった。~ (に) いた・あった
- 【否定文】 主語 + was + not ~.      主語 + were + not ~.
- 【疑問文】 Was + 主語 ~ ?      Were + 主語 ~ ?  
Yes, 主語 was(were).      No, 主語 wasn't(weren't).

**1** 次の日本語を英文にせよ

(1) 私は昨日忙しかった

---

(2) それらの本はおもしろかった

---

(3) Ken は昨日図書館にいましたか

---

(4) 昨日はとても寒かった

---

(5) あなたはこの前の日曜日どこにいたのですか

---

(6) 私はその時 (then) そこにはいませんでした

---

(7) 旅行はどうでしたか

---

(8) その本はおもしろかったですか

---

## 4.6 過去進行形

「～していた」という意味を表すとき

- 【形】 主語 + was + ~ing      主語 + were + ~ing  
【意味】 ~していた。  
【否定文】 主語 + was + not + ~ing~.      主語 + were + not + ~ing~.  
【疑問文】 Was + 主語 + ~ing~?      Were + 主語 + ~ing~?  
Yes, 主語 was(were).      No, 主語 wasn't(weren't).

**1** 次の日本語を英文にせよ

(1) 私の弟はそのとき自転車に乗っていた

---

(2) Ken と Yumi は今朝公園で走っていた

---

(3) 彼らはテレビを見ていた

---

(4) あなたはその時夕食を食べていたのですか

---

(5) あなたはその時何をしていましたか

---

(6) 私はテレビは見えていませんでした

---

(7) 私は犬を散歩させていました

---

動詞に別の意味を付け加えるときに使う。can とその仲間たち

5.1 助動詞「can」

**【形】** can + 動詞の原形  
「原形」とはなにも付けたり，変化したりしない形  
**【意味】** ~することができる

1 次の日本語を英文にせよ

(1) 彼らは英語を話す

彼らは英語を話すことができる

(2) 久美は英語を話す

久美は英語を話すことができる

2 can の疑問文・否定文

**疑問文** **【形】** Can 主語 動詞 ~ ?  
「can」を文の先頭にだす。答えるときも「can」を使う  
**【意味】** ~することができますか  
**否定文** **【形】** 主語 + can not (can't) + 動詞の原形  
「can」の後ろに「not」をおく。短くすると「can't」  
**【意味】** ~することができない

(1) 彼らは英語を話す

彼らは英語を話せますか

はい，話せます。 いいえ，話せません

---

彼らは英語を話すことができない

---

(2) 久美は英語を話す

---

久美は英語を話せますか

---

はい、話せます。 いいえ、話せません

---

久美は英語を話すことができない

---

## 5.2 助動詞

- 【形】** 助動詞 + 動詞の原形
- 【意味】** 動詞にそれぞれの「助動詞」の意味を付け加える
- 【種類】**
- ① can ~ 「～(すること)ができる」= be able to ~
  - ② will ~ 「～するつもりだ, ～だろう」= be going to ~
  - ③ must ~ 「～しなければならない」= have(has) to ~
  - ④ may ~ 「～してもよい」
  - ⑤ should ~ 「～すべきである」
- 【疑問文】** 助動詞 + 主語 + 動詞 ~ ?  
Yes, 主語 + 助動詞. No, 主語 + 助動詞 + not.
- 【否定文】** 主語 + 助動詞 + not + 動詞

**3** 次の日本語を英文にせよ

(1) 私はそれをあなたにあげるつもりです (2通り)

---



---

(2) あなたは今日の午後，彼に会うつもりですか

(3) ドアを閉めてもいいですか

(4) 明日は雨が降るでしょう

(5) 私は自分のベストを尽くさなければならない

(6) あなたの自転車を使ってもいいですか

いいですよ

### 5.3 特殊な表現

Will you ~ ?	① ~ して下さい = Please ~ . ⇒ O.K. All right. Sure.
	② ~ (して) はどうですか = How about ~ ? ⇒ Thank you.
Would you like ~ ?	~ はいかがですか Yes, please. No, thank you.
Shall I ~ ?	(私が) ~ しましょうか ⇒ Yes, please. Thank you.
Shall we ~ ?	(一緒に) ~ しましょう = Let's ~ . ⇒ Yes, let's.
You must not ~ .	~ してはいけない = Don't ~ .
don't have to ~	~ する必要はない

4 次の日本語を英文にせよ

(1) ここに座ってはいけません

(2) 私と一緒にきて下さい

---

いいですよ

---

(3) あなたと一緒にいきましょうか

---

はい, お願いします

---

(4) 一緒に行きましょう

---

はい, そうしましょう

---

(5) あなたは今行く必要はありません

(6) オレンジジュースはいかがですか

---

いいえ, 結構です

---

6.1 主語のようす・状態を表す

は～です。	+ be + ～.	You are happy.
は～にみえる (のようだ)。	+ look + ～.	You look happy
	+ look like + ～.	
は～になる。	+ become + ～.	You became happy.
は～にきこえる (のようだ)。	+ sound + ～.	That sounds happy.
は～に感じる。	+ feel + ～.	I feel happy.

1 次の日本語を英文にせよ

(1) Billy は幸せだった

\_\_\_\_\_

Billy は幸せに見えた

\_\_\_\_\_

Billy は幸せになった

(2) あなたは若い

\_\_\_\_\_

あなたは若く見える

(3) 彼はよい選手だ

\_\_\_\_\_

彼はよい選手のようにだ

\_\_\_\_\_

彼はよい選手になるだろう

\_\_\_\_\_

## 6.2 主語が「人」に「もの」を ~

【形】	主語 + 動詞 + 人 + 物 「もの」を「人」にの順のときには「to」が要る
【意味】	は(が)人に物を~する
【要点】	「~」のところにくる「動詞」を覚えよう
	give + 人 + 物 人に, 物をあげる(あたえる)
	teach + 人 + 物 人に, 物を教える
	tell + 人 + 物 人に, 物をつげる(おしえる)
	show + 人 + 物 人に, 物を見せる(示す, おしえる)
	ask + 人 + 物 人に, 物を尋ねる(きく)
	sell + 人 + 物 人に, 物を売る
	send + 人 + 物 人に, 物を送る
	make + 人 + 物 人に, 物をつくってあげる
	buy + 人 + 物 人に, 物を買ってあげる

## 1 次の日本語を英文にせよ

(1) 彼は私にスライド (slide) を何枚か見せてくれた

---

(2) 私たちの英語の先生は私たちにその建物の写真を見せてくれた

---

(3) 彼女は私にたくさんの質問をした

---

(4) 私はあなた達にその古い話をしてあげましょう

---

(5) 彼は私たちに将来への希望をくれた

---

## 2 次の日本語を英文に直せ

(1) 彼はスライド (slide) を何枚か私に見せてくれた

---

(2) 私たちの英語の先生はその建物の写真を私たちにを見せてくれた

---

(3) 彼女はたくさんの質問を私にした

\_\_\_\_\_  
(4) 私はその古い話をあなた達にしてあげましょう

\_\_\_\_\_  
(5) 彼は将来への希望を私たちにくれた

6.3 「... だということを~」

I think (that) ~.	私は~(である)と思う
I know (that) ~.	私は~(であること)を知っている
I hope (that) ~.	私は~(であること)を期待する
I'm sure (that) ~.	私はきっと~だと思う
I'm afraid (that) ~.	私は恐らく~だと思う
means (that) ~.	は~という意味だ
say (that) ~.	は~と言っている(と書いてある)

「that」があるときはわかりやすいが、「that」が省略されているとわかりにくい  
1つの文の中に動詞が2つある時は、この構文ではないかと考える

**1** 次の日本語を英文にせよ

(1) 私は彼が今日の午後、私を訪問すると思います

\_\_\_\_\_  
(2) 私は彼女がトマト (tomato) が好きではないことを知っています

\_\_\_\_\_  
(3) 私たちはあなたが来ることができることを期待します

\_\_\_\_\_  
(4) 私はあなたが今ロンドンにいることがわかりました

\_\_\_\_\_  
(5) Ken は(きっと)来るだろうと思う

\_\_\_\_\_

(6) 恐らく明日は雨になるだろう

---

(7) それはそこで止まらなければならないという意味です

---

(8) 彼女の手紙には来週の日曜日彼女が私の家へ来ると書いてある

---

7.1 不定詞

【形】 to + 動詞の原型

【意味】 「～すること」(名詞的用法)

「～するために」「～して」(副詞的用法)

「～するための」「～するべき」(形容詞的用法)

文法用語より、訳のしかたが大事

重要

「～すること」「～するために」「～して」「～するための」「～するべき」の【意味】をしっかりと覚えておくこと。

1 次の日本語を英文にせよ

(1) 私はテニスをするの(すること)が好きです

\_\_\_\_\_

(2) 生徒たちが登校し(登校することを)始めた

\_\_\_\_\_

(3) 私はテレビでニュースを見るために早く起きた

\_\_\_\_\_

(4) 私の叔父が今朝私に会いに(会うために)来た

\_\_\_\_\_

(5) 今日の午後、私はする(べき)ことが何もない

\_\_\_\_\_

(6) 私は何か読み物(読むための物)がほしい

\_\_\_\_\_

(7) 彼女はパイロットになりたかった。(なることを望んだ)

\_\_\_\_\_

(8) 私はあなたに会えてとてもうれしい

\_\_\_\_\_

## 7.2 動名詞 (~ing)

【形】	動詞 ing
【意味】	「~すること」
注意①	「~すること」を表す不定詞との使い分け
注意②	動詞 ing の形の進行形との使い分け

1 次の日本語を「動名詞」を使って英文に直せ

(1) 私はテニスをするの(すること)が好きです

---

(2) 生徒たちが登校し(登校することを)始めた

---

(3) 何人かの子供たちが絵を描くことを楽しんだ

---

(4) 私はそれらを運び(運ぶことを)終えた

---

「~すること」には、不定詞(to~)と動名詞(~ing)とがある

- ① 動名詞(~ing)だけを使う  
**enjoy** ~ing(~することを楽しむ・~して楽しむ),  
**finish** ~ing(~することを終える・~し終える),  
**stop** ~ing(~することをやめる) など
- ② 不定詞(to~)だけを使う  
**want to** ~(~することを望む・~したい), **hope to** ~(~することを期待する),  
**need to** ~(~することが必要だ・~する必要がある)
- ③ 動名詞・不定詞 どちらも使う  
**like**(~することが好きだ), **begin**(~することを始める),  
**start**(~することを始める) など

2 次の日本語を英文に直せ

(1) 私は新しいコーヒーカップを買いたい。(買うことを望む)

---

(2) 話を (話をすることを) やめてください

---

(3) あなたはすぐ行く必要がある。(行くことが必要だ)

---

「~ing」にも2通りの意味がある

- ① 「~すること」
- ② 「~している」 進行形 = be 動詞 + ~ing の形になる  
「~すること」なのか「~している」か、日本語にしてみても変ではない方を選ぶ

**3** 次の英文を日本語に直せ

(1) We are listening to music.

---

(2) My hobby is listening to music. (hobby 趣味)

---

(3) Mr. Mori is teaching English now.

---

(4) Mr. Mori's job is teaching English.

---

## 7.3 When ~ ,

「When ~」には2つの意味がある。

- ① When ~ ? の形するとき 「いつ~ですか。」  
 ② When ~ , の形するとき 「~のとき」「~するとき」「~すると」

**1** 次の日本語を英文にせよ。

(1) 雨が降るときは、私はたいてい家にいる

---

(2) 私がテレビを見ているとき、母が私を呼んだ

---

(3) 彼はいつプロの (professional) サッカー選手になったのですか

---

(4) 父が帰ってきたとき、私は自分の部屋にいた

---

(5) あなたはいつ彼にあったのですか

---

(6) 私は公園へ行ったとき、Ken に会いました

---

## 7.4 「~がある」「~がいる」

- 【形】 There +be+ (主語)+~(場所).  
 【訳】 ~に がいる(ある)。 が~にいる(ある)  
 【注意】 が1つ(人)のときは、be動詞は「is」  
           が複数(2つ以上)のときは、be動詞は「are」  
 これを「There構文」という  
 過去形の場合は、「be動詞」を過去形にする

**1** 1つまたは1個(人)の場合

(1) 壁に絵があります。(かかっています)

---

(2) あなたの部屋にテレビがありますか

はい、あります。      いいえ、ありません

(3) 私のカバンにはなにも入っていない

**2** 2つ(人)以上の場合

(1) 公園に何人か子供がいます

(2) 私の部屋にはいすが3個ある

(3) あなたのクラスには生徒は何人いますか

35人います

**3** 【例文】「1年は12ヶ月です」

(1) There 構文

(2) have ①

(3) have ②

⑧

## 第 8 章 比較級

⑧

2つの物を比べたり、「～の中で一番」という表現のとき

## 8.1 同級 「同じくらい～だ」

【形】 A as ~ as B

【意味】 AはBと同じくらい～

注意 「～」には、ようす (形容詞) や程度 (副詞) を表すことばが入る

1 次の日本語を英文にせよ。

(1) あなたの犬は私と同じくらい大きい

---

(2) Ken はあなたと同じくらい速く泳ぐ

---

(3) 日本ではサッカーは野球と同じくらい人気がある

---

## 8.2 比較級 「～より(もっと)…だ」

【形】 普通 A ~er than B

長い単語 A more ~ than B

【意味】 AはBより(もっと)～だ

注意 「～」には、ようす (形容詞) や程度 (副詞) を表すことばが入る

2 次の日本語を英文に直せ

(1) あなたの犬は私のより大きい

---

(2) Ken はあなたより速く泳ぐ

---

(3) 日本では野球はサッカーより人気がある

---

### 8.3 最上級 「最も(一番)~だ」

【形】	普通	A the ~ est in(of) ...
	長い単語	A the most ~ in(of) ...
【意味】	Aは...の中で最も~だ	
注意	「~」には, ようす(形容詞)や程度(副詞)を表すことばが入る	

3 次の日本語を英文に直せ

(1) あなたの犬は5匹の中で最も大きい

---

(2) Kenは私たちのクラスの中で最も速く泳ぐ

---

(3) 日本では野球はすべての中で最も人気のあるスポーツです

---

### 8.4 形が変わる単語

原級	比較級	最上級
good(よい)	better(よりよい)	best(もともよい)
well(上手に)	better(よりうまい)	best(一番うまい)
well(かなり)	better(相当)	best(超)
many((数が)たくさんの)	more(よりたくさん)	most(一番たくさん)
much((量が)多くの)	more(よりおおい)	most(最も多い)

4 次の日本語を英文に直せ

(1) あなたの考えはよい

---

あなたの考えは私のよりよい

---

あなたの考えはすべての中で一番よい

---

(2) 久美はたくさんの本を持っている

---

久美は私よりたくさんの本を持っている

---

久美は私のクラスの中で一番多くの本を持っている

---

## 8.5 注意が必要な表現

**【形】** Which ~ (比較級), A or B ?

**【意味】** A と B では, どちらが ~ ですか。

**注意** 「 ~ 」は, 必ず比較級になる。また, 答えるときも「比較級」になる

**5** 次の日本語を英文に直せ

(1) あなたはリンゴとミカンのどちらが好きですか

---

私はリンゴの方が好きです

---

(2) 日本では野球とサッカーのどちらが人気がありますか

---

日本では野球の方が人気があります

---

この(1)で使う「better」には、「よい」という意味ではないのでこのまま覚えよう

【形】	have(has) + 過去分詞	主語によって have と has を使い分ける
【意味】	(1) (ずっと)~している	( 継続 )
	(2) ~したことがある	( 経験 )
	(3) ~してしまった	( 完了 )
【疑問文】	Have + 主語 + 過去分詞 ~ ?	have を文頭に出す
【否定文】	主語 + have not + 過去分詞 ~ .	have not=haven't

### 9.1 継続 「(ずっと)~している」

「継続」のときに、よくつかわれる語句

since ~	~以来, ~から	for ~	~の間, ~間
How long ~ ?	どのくらい(長く)~か		

1 次の日本語を英文にせよ。

(1) 彼は小さいときから、動物の勉強をしている

\_\_\_\_\_

(2) あなたはどのくらい(長く)英語を勉強していますか

\_\_\_\_\_

(3) 私は英語を3年間勉強しています

\_\_\_\_\_

### 9.2 経験 「(いままでに)~したことがある」

「経験」のときに、よくつかわれる語句

ever	かつて, いままでに	never	一度も~ない
once	一度, かつて	~ times	~回, ~度
How many times ~ ?	何回~か		

2 次の日本語を英文にせよ

(1) 私は一度彼についての物語を読んだことがある

\_\_\_\_\_

(2) 私はそれらについて(いままでに)一度も聞いたことがない

---

(3) いままでにだれか (anyone) がそれを彼に教えたことがありますか

---

(4) 今までに京都に行ったことがありますか

---

### 9.3 完了 「～してしまった, ～したところだ」

「完了」のときに, よくつかわれる語句

already もう, すでに

just ちょうど

~ yet? 【疑問文で】もう

not ~ yet. 【否定文で】まだ (~ない)

#### 3 次の日本語を英文にせよ

(1) 彼らはもう(すでに)ヨーロッパを(から)去った(出発した)

---

(2) 彼はちょうど家に帰ってきたところだ

---

(3) あなた達はもうその歌を歌ってしまったのですか

---

(4) 私たちはまだその歌を歌っていません

---

**4** 次の日本語を英文にせよ

(1) Ken は2年間英語の勉強をしている

---

(2) 私たちは2年前から英語の勉強をしている

---

(3) あなたはその歌を歌ったことがありますか

---

(4) 私はずっと子供たちに歌を教えています

---

(5) あなたは何回そこに行ったことがありますか

---

## 10.1 動詞の活用と使い方

原形	【形】	「s(es)」、「ed」、「ing」など何もつかない形
	【使い方】	① 命令文のとき使う ② 助動詞の後に使う ③ 不定詞のとき使う
現在分詞形	【形】	「~ing」
	【使い方】	① 進行形 (be + ing) のとき使う ② 動名詞 (~すること) のとき使う
過去形	【形】	① 「ed」がつく規則動詞 ② 形が変わる不規則動詞
	【使い方】	「過去」のことを表すとき使う
過去分詞形	【形】	① 「ed」がつく規則動詞 ② 形が変わる不規則動詞
	【使い方】	「have(has) + 過去分詞」の形で ① (ずっと) ~している ② ~したことがある ③ ~してしまった

1 次の日本語を英文にせよ。

(1) 私は写真を撮ります (撮る)

---

(2) Sam は写真を撮ります

---

(3) 私は写真を撮っています

---

(4) 彼はそのとき写真を撮っていました

---

(5) Sam は写真を撮ることが好きです

---

(6) 私たちは写真を撮りました

---

2 次の日本語を英文に直せ

(1) 私はテニスをします (する)

---

(2) 久美はテニスをします (する)

---

(3) 久美と Ken はテニスをしています

---

(4) 彼らは昨日の午後テニスをしていました

---

(5) Billy はテニスをするのが好きです

---

(6) 私たちは昨日テニスをしました

---

(7) 私たちは昨日テニスをしに公園へ行きました

---

(8) 私は一度久美とテニスをしたことがあります

---

⑪

## 第 11 章 不規則動詞の活用表

⑪

## AAA 型

～切る	cut	cut	cut
～にさせる	let	let	let
～を置く	put	put	put
～を読む	read	<small>レッド</small> read	<small>レッド</small> read

## A B B 型

～を持ってくる	bring	brought	brought
～をかう	buy	bought	bought
～を思う	think	thought	thought
～を捕まえる	catch	caught	caught
～を教える	teach	taught	taught
～を建てる	build	built	built
～を貸す	lend	lent	lent
～を送る	send	sent	sent
～を費やす	spend	spent	spent
～を感じる	feel	felt	felt
～をなくす	lose	lost	lost
～を意味する	mean	meant	meant
～を保つ	keep	kept	kept
眠る	sleep	slept	slept
～を出発する	leave	left	left
～に会う	meet	met	met
座る	sit	sat	sat
～を持っている	have	had	had
～を聞く	hear	heard	heard
～をつくる	make	made	made
～という	say	said	said
～を売る	sell	sold	sold
～を告げる	tell	told	told
～を見つける	find	found	found
立つ	stand	stood	stood
～を理解する	understand	understood	understood

## A B A 型

～になる	become	became	become
来る	come	came	come
走る	run	ran	run

## A B C 型

～である	be	was / were	been
～を始める	begin	began	begun
～を飲む	drink	drank	drunk
～を歌う	sing	sang	sung
泳ぐ	swim	swam	swum
育つ	grow	grew	grown
～を知っている	know	knew	known
～を投げる	throw	threw	thrown
～を描く	draw	drew	drawn
飛ぶ	fly	flew	flown
～を運転する	drive	drove	driven
～を書く	write	wrote	written
～に乗る	ride	rode	ridden
上る	rise	rose	risen
～をこわす	break	broke	broken
～を話す	speak	spoke	spoken
～を忘れる	forget	forgot	forgotten
～を手に入れる	get	got	gotten
～を食べる	eat	ate	eaten
～を与える	give	gave	given
～を持っていく	take	took	taken
～をする	do	did	done
行く	go	went	gone
～を見る	see	saw	seen
～を見せる	show	showed	shown

## 12.1 曜日・月・季節

## 曜日

- |   |           |     |                              |
|---|-----------|-----|------------------------------|
| 1 | Sunday    | 日曜日 | * 最初の文字は大文字                  |
| 2 | Monday    | 月曜日 | * 曜日の前に置かれる語は on, last, next |
| 3 | Tuesday   | 火曜日 | (例) on Sunday 日曜日に           |
| 4 | Wednesday | 水曜日 | (例) last Sunday この前の日曜日に     |
| 5 | Thursday  | 木曜日 | (例) next Sunday 今度の日曜日に      |
| 6 | Friday    | 金曜日 |                              |
| 7 | Saturday  | 土曜日 |                              |

## 月

- |    |           |     |                         |
|----|-----------|-----|-------------------------|
| 8  | January   | 1月  | * 最初の文字は大文字             |
| 9  | February  | 2月  | * 月の前に置く前置詞は in         |
| 10 | March     | 3月  | (例) in January 一月に      |
| 11 | April     | 4月  | * 日付まで表す時は on           |
| 12 | May       | 5月  | (例) on July first 7月1日に |
| 13 | June      | 6月  |                         |
| 14 | July      | 7月  |                         |
| 15 | August    | 8月  |                         |
| 16 | September | 9月  |                         |
| 17 | October   | 10月 |                         |
| 18 | November  | 11月 |                         |
| 19 | December  | 12月 |                         |

## 季節

- |    |        |   |                              |
|----|--------|---|------------------------------|
| 20 | spring | 春 | * 季節の前に置かれる語は in, last, next |
| 21 | summer | 夏 | (例) in summer 夏に             |
| 22 | fall   | 秋 | (例) last summer 去年の夏に        |
| 23 | winter | 冬 | (例) next summer 来年の夏に        |

## 12.2 数字・序数

### 数字

1	one	17	seventeen
2	two	18	eighteen
3	three	19	nineteen
4	four	20	twenty
5	five	21	twenty-one
6	six	30	thirty
7	seven	40	forty
8	eight	50	fifty
9	nine	60	sixty
10	ten	70	seventy
11	eleven	80	eighty
12	twelve	90	ninety
13	thirteen	100	one hundred
14	fourteen	101	one hundred one
15	fifteen	1000	one thousand
16	sixteen		

### 序数

日付や順番を表す時に使う

第1	first	第13	thirteenth
第2	second	第14	fourteenth
第3	third	第15	fifteenth
第4	fourth	第16	sixteenth
第5	fifth	第17	seventeenth
第6	sixth	第18	eighteenth
第7	seventh	第19	nineteenth
第8	eighth	第20	twentieth
第9	ninth	第21	twenty-first
第10	tenth	第22	twenty-second
第11	eleventh	第30	thirtieth
第12	twelfth	第31	thirty-first

## 12.3 人称代名詞

わたしは(が)	I	わたしの	my
わたしを(に)	me	わたしのもの	mine
あなたは(が)	you	あなたの	your
あなたを(に)	you	あなたのもの	yours
彼は(が)	he	彼の	his
彼を(に)	him	彼のもの	his
彼女は(が)	she	彼女の	her
彼女を(に)	her	彼女のもの	hers
それは(が)	it	その	its
それを(に)	it		
私たちは(が)	we	私たちの	our
私たちを(に)	us	私たちのもの	ours
あなたたちは(が)	you	あなたたちの	your
あなたたちを(に)	you	あなたたちのもの	yours
彼らは(が)	they	彼らの	their
彼らを(に)	them	彼らのもの	theirs
彼女らは(が)	they	彼女らの	their
彼女らを(に)	them	彼女らのもの	theirs
それらは(が)	they	それらの	their
それらを(に)	them		

日本語と英語はちがう言葉なので，当然単語の並び方がちがう。

《例》 私は 毎日 図書館で 友だちと 英語を 勉強します。

I every day at the library with my friends English study.

とはならない。

日本語と同じように英語の単語をならべても文にはならない。

また，日本語では次のように言葉の順番がちがっても意味が通じることが多い。

- 私は図書館で毎日友だちと英語を勉強します。
  - 私は英語を友だちと毎日図書館で勉強します。
  - 英語の勉強を私は毎日図書館で友だちとします
- } 日本語なら，どれでも O.K.

英語では，基本的に語順が決まっている。

そこで，どのように英語の単語をならべたら，英語の文になるかというと，

- (1) まず，主語「～は，～が」にあたる言葉 上の例でいうと， 私は = 「I」
- (2) 次に，動詞「～です，～である，～にいる，～する」などの日本語で言う，「述語」  
上の例でいうと， 勉強する = 「study」
- (3) 3番目は「なにを，だれを」などの言葉 上の例でいうと， 英語 = 「English」
- (4) 四番目が「場所」これからの3つは順番はそれほど重要ではない  
上の例でいうと， 図書館で = 「at the library」
- (5) 五番目に「方法」 上の例でいうと 友だちと = 「with my friends」
- (6) 最後が「時」 上の例でいうと 毎日 = 「every day」

このきまりにしたがって，上の例文を英語に直すと，

I study English at the library with my friends every day.

**1** 次の日本語を英文にせよ。

(1) 私は放課後友だちとサッカーをします

---

(2) 私は父のカメラで何枚か写真を撮ります

---

(3) わたしの姉は毎日ここで昼食を食べます

---

(4) 私たちはその頂上にたくさんの人が見えます

---

語英学中

習熟のΣ・1中

**Good Job !!**

